

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・5・16(木)
南NEWS no 21



上の写真は練習後に描いた清水コーチの顔です。

今、練習に参加している1年生は体験の子を含めて6人です。

7月6日(日)の新人戦・上柚木陸上競技場の大会に出られます。

5月12日の日曜日は5人の1年生とお家のみなさんで親子サッカーを楽しみました。

お家の人とのゲーム、みんなで一生懸命ボールを追いかけて楽しそうでした。

休憩時間の寺子屋では“お化け電車”の読みきかせ。♪1と9で10♪で始まる“10の歌”をギターに合わせて歌いました。

どんどん可愛い仲間が増えてほしいですね。よろしくお願ひします。



親子サッカー。20年前に南を卒業した名MFのOBも参加してくれました。

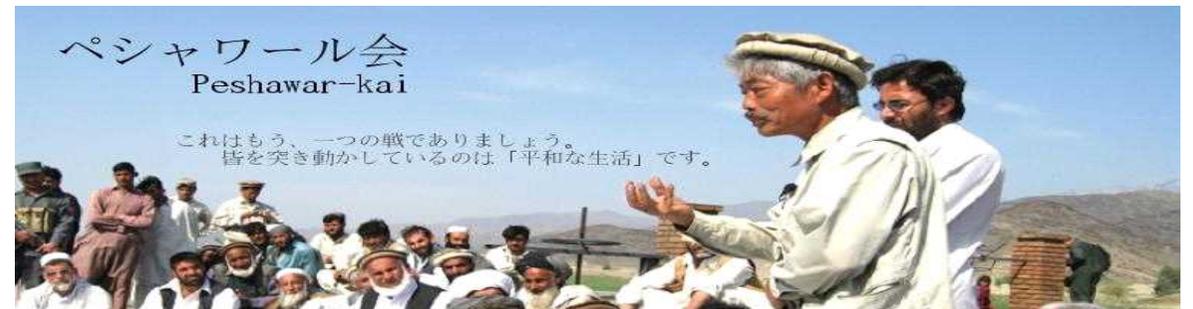


学校もサッカーも思う存分楽しんでほしいです。グラウンドでは清水コーチが優しくサッカーを教えてください。1年生の女の子2人が「清水コーチ大好き！」と言って似顔絵を描いていました。一人の子には掲載駄目と言われました。お家では学校の話やサッカーの話をいっぱい聴いてあげてください。できたこと・GAMBAったことを褒めてあげてください。短い絵本でも結構です。できるだけ本を読んであげてください。時間があるときは親子で散歩して、出会った生き物や草花の話をするのもお勧めです。会話と読書(読みきかせ)は子どもを優しく・知的に育てます。



南の3年生のシンヤ君・1年生のマナカさんのお父さんは国境なき医師団の一員として活動し、ペシャワール会の一員としても、下のスライド(矢上作成)で紹介した中村哲医師と共に、アフガニスタンで現地の人達と力を合わせて砂漠と岩の荒野に運河を引き、緑の大地に変え、小麦やブドウなどを作り、人々の平和な暮らし実現に尽力している方です。

八王子市の桑の実サッカークラブの出身で、Jリーグの浦和ユースでも活躍した方です。今は南の壮年部でサッカーを楽しんでいます。



ペシャワール会
Peshawar-kai

これはもう、一つの戦でありましょう。皆を突き動かしているのは「平和な生活」です。

中村哲医師の言葉

平和とは武器によって作り出すものではなく、水と緑によって人々の生活を保障することです。3度3度ご飯が食べられること、家族と一緒に暮らせること、それ以上を望む人はいません



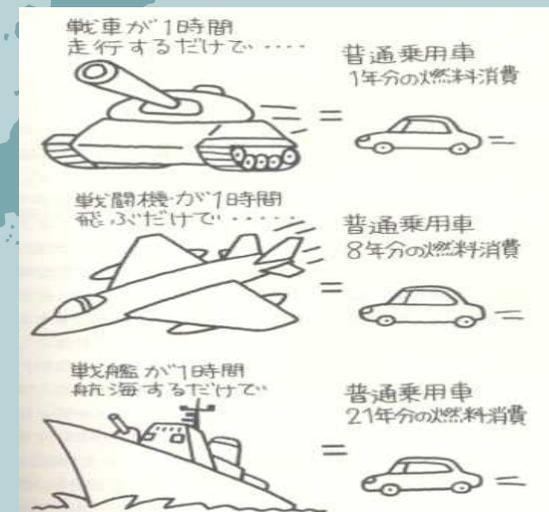
用水の完成、通水を喜ぶ村人たち

イラク戦争による環境破壊

● 2003年3月～
2007年10月

総CO2排出量
1億4100万t

戦争が地球温暖化を促進し世界中の人々の安全保障を脅かす。



中米のコスタリカは日本と同じく憲法で軍隊は持たない・戦争はしないと決めています。軍備に使うお金を教育費無料・医療費無料に使っているのです。今の日本はどうでしょうか。

